

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 感動創造支援本部副本部長 (氏名)細川 秀樹 (TEL) (052)551-0274
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,004	15.6	51	926.6	55	528.5	37	581.8
29年3月期第1四半期	868	△2.7	5	△82.5	8	△71.1	5	△72.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	70.71	—
29年3月期第1四半期	10.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,128	3,732	72.8
29年3月期	5,088	3,702	72.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,732百万円 29年3月期 3,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	3.4	130	33.1	133	55.6	89	△29.0	167.60
通期	3,950	△2.3	180	5.2	183	5.3	103	—	193.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	540,000株	29年3月期	540,000株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	9,041株	29年3月期	8,975株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	530,992株	29年3月期1Q	531,057株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が進み、穏やかな回復基調が継続しているものの、以前として海外景気の下振れリスク等があり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社におきましては、お客様に感動していただくため、引き続き「『感動の創造』をキーワードとなる経営をします。」という方針のもと、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、商品・環境を提供し、感動の創造に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の経営成績としては、売上高は10億4百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は51百万円（前年同期比926.6%増）、経常利益は55百万円（前年同期比528.5%増）、四半期純利益は37百万円（前年同期比581.8%増）となりました。

以下、事業別の概況をご報告いたします。

【シネマ事業】

シネマ事業におきましては、洋画では「美女と野獣」、邦画では「22年目の告白 私が殺人犯です」、アニメでは「SING」「名探偵コナン から紅の恋歌」等の話題作を上映しました。その結果、売上高は8億26百万円（前年同期比35.6%増）、セグメント利益は44百万円（前年同期比286.4%増）となりました。

【リラクゼーション事業】

リラクゼーション事業におきましては、地域に密着した運営を心掛け、店舗独自のイベント等を実施するなど、お客様に愛される施設運営に努めてまいりました。しかしながら、客単価の低下や競合施設の影響を受け厳しい状況で推移しました。また、愛知県江南市の「松竹温泉天風の湯」を本年1月1日に事業譲渡した影響もあり、売上高は、前年を大きく下回る結果となりました。その結果、売上高は93百万円（前年同期比46.9%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業におきましては、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事に特化した営業展開を図り、安定的な収益の維持に努めてまいりました。その結果、売上高は83百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は51億28百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは主に流動資産の増加によるものであります。

負債は13億95百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円の増加となりました。これは主に流動負債の増加によるものであります。

純資産は37億32百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	883,906	967,302
受取手形及び売掛金	211,707	168,505
有価証券	600,000	600,000
商品及び製品	9,089	10,102
前払費用	30,581	30,816
預け金	81,506	48,355
繰延税金資産	13,459	13,459
その他	8,965	74,624
貸倒引当金	△1,705	△1,215
流動資産合計	1,837,511	1,911,950
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,182,897	1,156,538
構築物（純額）	4,306	4,052
機械装置及び運搬具（純額）	181,388	170,448
工具、器具及び備品（純額）	98,378	93,168
土地	634,896	634,896
有形固定資産合計	2,101,866	2,059,104
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	92,302	83,640
その他	410	400
無形固定資産合計	93,860	85,187
投資その他の資産		
投資有価証券	348,920	362,144
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	632,866	641,710
長期前払費用	6,861	6,242
繰延税金資産	56,502	52,560
投資その他の資産合計	1,055,149	1,072,657
固定資産合計	3,250,877	3,216,949
資産合計	5,088,389	5,128,900

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,857	404,045
1年内返済予定の長期借入金	99,960	99,960
リース債務	88,199	88,199
未払金	2,390	4,864
未払法人税等	78,530	21,411
未払消費税等	5,344	-
未払費用	57,053	48,084
従業員預り金	2,931	5,682
賞与引当金	16,000	8,000
その他	46,664	151,623
流動負債合計	758,931	831,872
固定負債		
長期借入金	33,400	8,410
リース債務	218,798	196,748
退職給付引当金	60,587	52,717
長期未払金	39,500	35,400
資産除去債務	91,411	91,841
受入保証金	183,084	178,986
固定負債合計	626,781	564,103
負債合計	1,385,713	1,395,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	314,116	298,185
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	556,615	594,162
利益剰余金合計	3,318,231	3,339,848
自己株式	△67,863	△68,513
株主資本合計	3,520,382	3,541,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	182,293	191,575
評価・換算差額等合計	182,293	191,575
純資産合計	3,702,675	3,732,923
負債純資産合計	5,088,389	5,128,900

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	868,273	1,004,002
売上原価	434,908	522,977
売上総利益	433,364	481,024
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	11,241	13,577
人件費	137,043	138,901
賞与引当金繰入額	7,797	8,000
退職給付費用	1,987	1,247
減価償却費	60,114	50,440
地代家賃	94,945	104,927
水道光熱費	38,335	31,096
修繕費	1,891	1,606
その他	74,992	79,741
販売費及び一般管理費合計	428,348	429,538
営業利益	5,015	51,486
営業外収益		
受取利息	80	17
受取配当金	2,744	3,097
協賛金収入	1,111	-
貸倒引当金戻入額	77	490
その他	475	413
営業外収益合計	4,488	4,017
営業外費用		
支払利息	340	57
その他	400	380
営業外費用合計	741	437
経常利益	8,762	55,066
税引前四半期純利益	8,762	55,066
法人税等	3,255	17,518
四半期純利益	5,507	37,547

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	609,692	175,827	82,753	868,273	—	868,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	609,692	175,827	82,753	868,273	—	868,273
セグメント利益又は損失(△)	11,426	△13,397	6,986	5,015	—	5,015

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	826,834	93,341	83,827	1,004,002	—	1,004,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	826,834	93,341	83,827	1,004,002	—	1,004,002
セグメント利益又は損失(△)	44,150	△214	7,549	51,486	—	51,486

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。